

女性研究者通信

Support Office for Female Researchers

『科学と社会をつなげるコミュニケーション』をテーマに 第2回 第3回 キャリア形成支援セミナーを開催しました。

平成25年7月9日(火)は上田キャンパス、平成25年7月12日(金)は松本キャンパスにおいて、第2回・第3回のキャリア形成支援セミナーを開催しました。このたびのセミナーは、科学を解説することや、研究の面白さを伝えるコミュニケーションスキルを学ぶことを目的とし、日本科学未来館科学コミュニケーターの大崎章弘氏と早川知範氏を講師にお招きし、「科学と社会をつなげるコミュニケーション」をテーマに開催しました。

講義では、「科学コミュニケーションの歴史や背景」「ファシリテーターの役割とスキル」について学びました。グループに分かれての演習では、「ファシリテーションの実践」および、専門用語をより分かりやすく説明するために必要な手法を学ぶ「3分専門用語説明」に取組みました。どちらの演習も実際に実践できるもので、全員が意欲的に参加しました。



第2回 上田キャンパス



日本科学未来館
科学コミュニケーター
大崎 章弘氏



第3回 松本キャンパス



日本科学未来館
科学コミュニケーター
早川 知範氏



参加者の感想

「他人に自分の意志・知識を伝える手法を学びました。」
「今後の研究室のセミナーに活かすことができると思いました。」
「ファシリテーターのスキルを学ぶことができました。」など

「第4回キャリア形成支援セミナー」開催決定!

4ページのINFORMATIONをご覧ください。

自分の考えや思いを
他人にきちんと伝えられていますか?
自らのキャリア形成支援のためにぜひご参加ください!!

オープンキャンパスでパネル展示!

平成25年7月20日(土)教育学部のオープンキャンパスで、本学の男女共同参画をテーマにパネル展示、資料配布を行いました。同時に、教育学部教員の「高校生へのメッセージ」パネル展示コーナーを設けました。さらに、学部教員・学生による相談会、高校生との交流会を行いました。

パネル展示コーナーには、女性研究者支援室長のあいさつ、女性研究者支援事業の紹介、教員18名(女性9名、男性9名)の紹介パネル計12枚を展示しました。



▲パネル展示の様子



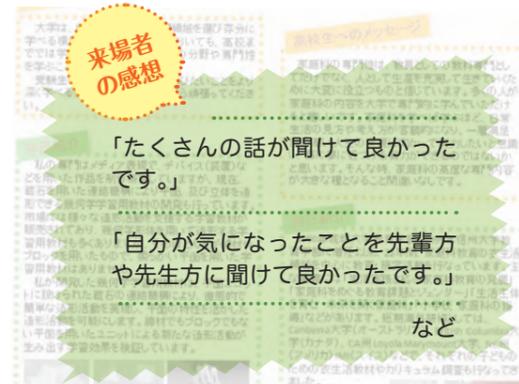
▲相談に応じる学生

相談会では女性教員や学生が、各課程・コースのことなどの相談に応じました。また、資料コーナーでは、女性研究者支援室の刊行物などを展示・配布しました。

午後1時から2時までの交流会では、高校生や保護者、教員、学生などが参加し、女性研究者支援の取り組みをはじめ、教育学部の特徴、学生のキャンパスライフなどについての意見交換などがあり、大変和やかな雰囲気でした。



交流会の様子▶



長野市との連携による『男女共同参画月間展示企画』

長野市は、平成25年6月23日(日)~7月22日(月)を男女共同参画月間とし、長野市勤労者女性会館しなのきホールにおいて「男女共同参画月間展示企画」が開催されました。本学では開催期間中、女性研究者支援事業のパネルや、男女共同参画ポスター、ニュースレター等の展示・配布を行いました。



農学研究科久志本尚子さんが「国際ソロプチミスト長野ーみすず」のみすず賞を受賞しました!

農学研究科(修士課程)2年の久志本尚子さんは、2012年度、国際ソロプチミスト日本中央リジョンの「リジョナルプロジェクト 女子大学院生・女子大学生奨学金給付」に応募したところ、推薦クラブである、「国際ソロプチミスト長野ーみすず」より、みすず賞(学位取得を目指していること。人物、学業ともに優秀であること。研究が将来社会に貢献するものであること。)を平成25年6月17日(月)に受賞しました。

研究会開催 6月19日(水) in 長野(教育)キャンパス



高橋 知音 教授

教育学部にて、研究会が開催されました。

研究補助者制度を利用し、ともに子育て中の教育学部高橋知音教授、福田典子准教授を演者にお迎えし、教育学部の教員・大学院生合わせて19名が参加しました。

高橋教授からは、「発達障害のある人の状態をどう把握するか?」をテーマに、お話しいただきました。研究補助者制度を利用し、得られた研究成果を学生と連名で学会発表したこと、また、支援を受けることによって、学生に学会発表を促しやすくなったことなどの報告がありました。

福田准教授からは、「衣生活教育に関する教材開発」をテーマにお話しいただき、研究補助者制度を利用し、学生とともに教材開発したエピソードについての報告がありました。



福田 典子 准教授

研究発表後の交流会では、研究内容に対する質疑応答が活発に行われ、高橋教授が開発された「大学生生活に関する困りごと調査用紙」「社会的情報処理に関する調査用紙」について意見交換が行われました。また、福田准教授が開発された「子どもが楽しくファッションを学ぶことのできる教材」に関し、実際に使用した際の効果や成果などの意見が出ました。また、女性研究者支援室の取り組みに

についても意見があり、研究補助者制度は、研究者のライフイベントと研究の両立を支援するだけでなく、補助者である学生にとっても研究補助を通して知識や経験を増やすことができる制度となっているため、今後も継続が望まれるなどの意見が出されました。利用した教員の研究成果および研究補助者制度に対する生の声を聞くことができ、ライフイベント中の教員に対する大学の支援を多くの教員に周知する良い機会となりました。



ランチ ミーティング開催

7月16日(火) in 南箕輪キャンパス



農学部の女性教員・学生によるランチミーティングが行われました。

今回は、専門性を活かした進路を目指している女子学生から、農学部の教育研究環境の問題点や要望を聞くことができました。全体として、充実した学生生活を過ごしているようでした。



平成25年度(10月~3月期) 研究補助者制度の利用者が決まりました。

平成25年度(10月~3月期)研究補助者制度の利用者が決まりました。

本学の研究者が出産、子育てまたは介護と研究活動を両立できるよう、研究補助者を措置する制度を平成25年度(10月~3月期)も募集し、厳正な審査のうえ、利用者を決定いたしました。

選考結果

利用者 18名
(女性14名、男性4名)

「第4回キャリア形成支援セミナー 研究者、教員になるために学びたい 伝える力」のご案内

- **開催日時** 10月16日(水) 14:40~16:40
- **会場** 信州大学長野(教育)キャンパス
中校舎2階 第1会議室
- **講師** 日本科学未来館
科学コミュニケーター
落合 裕美 氏
- **定員** 30名

【対象】 学生・大学院生
(教職員の参加も受け付けます。)

【申し込み締切日】 10月9日(水)

【内 容】

〈講義〉

- 科学コミュニケーションとは

〈演習〉

- 「“こたえる技術”～答える・応える・堪える～」を学ぶ
- ・ 専門用語を3分間で伝える
- ・ ファシリテーションの実践



申込み・問い合わせ 信州大学女性研究者支援室(長野分室)
※詳細はホームページでお知らせします。

『学長と女性研究者の懇話会』 のお知らせ

松本

- 日時：11月15日(金)
10：40～12：10
- 会場：松本キャンパス
本部管理棟5階 第2会議室

長野

- 日時：11月18日(月)
10：40～12：10
- 会場：長野(工学)キャンパス
管理棟2階 第1会議室

- 対象 女性研究者
- 申込み・問い合わせ
女性研究者支援室(長野分室)

松本キャンパス学内保育所 新営工事について

松本キャンパスにある、学内保育所の移転新営工事が進んでいます。医学部附属病院授乳所「愛称:おひさま保育園」は昭和40年から医学部および医学部附属病院の教職員の子どもを対象として運営してきましたが、園舎の老朽化や、部局を問わず保育を希望する教職員が増加していることから、定員を60名から90名に拡大し、また名称も新たに「信州大学おひさま保育園」として生まれ変わります。対象年齢はこれまで通り生後8週から4歳未満児で、保育の対象は全教職員の子どもに拡大します。

新園舎は、現園舎(372㎡)の西南の敷地に延床面積約980㎡で、平成25年10月に竣工します。建物の構造材や腰壁には長野県産材を使用し、全体に木のぬくもりを感じることが出来る園舎になっています。また採光や通気性に配慮し、冷暖房設備や防犯設備を完備し、子どもの健康、安全を第一に考えています。新園舎建築の様子は男女共同参画推進のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/>



お問い合わせ

信州大学 女性研究者支援室 (SuFRé)

松本分室 (総務部人事課内)
〒390-8621 松本市旭 3-1-1
TEL 0263-37-2167
FAX 0263-37-3314
内線 811-2127

長野分室 (教育学部内)
〒380-8544
長野市西長野 6-0
TEL/FAX 026-238-4048
内線 831-4048

E-mail: sufre@shinshu-u.ac.jp

信州大学 スプレ

検索

開室時間

9:00~17:00(月~金)

長野分室(教育学部内)案内図

